

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	令和7年度瑞穂町子ども・子育て会議（第1回）	
開 催 日 時	令和7年9月25日（木）午後6時30分から午後7時33分まで	
出席者及び 欠席者	【出席者】委員9名、福祉部長、事務局3名、関連部署職員6名 合計19名 【欠席者】委員3名	
次 第	1 開会 2 部長挨拶 3 委嘱状交付 4 自己紹介 5 会長及び副会長の互選 6 議題 (1) 第2期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について (2) 瑞穂町子ども計画進捗状況等管理票について 7 その他 8 閉会	
傍 聴 者	1名	
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 瑞穂町子ども・子育て会議委員名簿 ・資料2 第2期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画進捗状況等管理票 ・資料3 瑞穂町子ども計画進捗状況等管理票 瑞穂町子ども・子育て会議条例 瑞穂町子育てほっとブック 	
会 議 内 容 （主な意見等を原則として発言順に記載）	1 開 会 （子育て応援課長） 2 部長挨拶 3 委嘱状交付	<p>瑞穂町子ども・子育て会議条例第7条第1項に「会議は、会長が招集し、議長となる。」とあるが改選後1回目の会議であるため、会長が選出されるまでは事務局で進行する。</p> <p>続いて第7条第2項に「会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。」とあるが、9名の委員が出席している。出席要件を満たしているので、本日の会議は成立している。</p> <p>福祉部長から挨拶</p> <p>机上配布により委嘱状を交付</p>

		<p>※以下、資料２「第２期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等管理票」を用いて説明</p> <p>ピンクの表紙の「計画の体系」、黄色い表紙の「量の見込みと確保方策」、達成度表（数値まとめ）は、令和７年３月の第８回子ども・子育て会議で報告したが、その際は令和７年１月末現在の内容となっていた。令和６年度が終了したことに伴い、数値等を３月末時点に修正し、軽微な文言修正等を行った。</p> <p>この第２期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画は、令和６年度末で終了となったが、新たに策定した子ども計画に量の見込みや各施策については引き継がれている。第２期瑞穂町子ども・子育て支援事業計画進捗状況等管理票で課題となった部分や、委員の皆さまからいただいた意見は、子ども計画における各施策に反映していく。</p> <p>資料２に関する意見については、お配りした二次元コードを読み込み、指定のフォームからお願いしたい。いただいた意見等は、関連部署に伝え、回答が必要な場合には、次の会議で報告したい。</p>
	(会長)	<p>色々な意見について会議の場で話しができれば良いが、読んでみて少し気になるころがあれば二次元コードを使って質問してほしい。</p>
	(委員)	<p>多世代交流センターMIZCULがオープンし、五小児童保育クラブが移転したが、児童館の利用状況はどうか。</p>
	(関連部署職員)	<p>一時的に利用者は減ったが、夏休み明けにはオープン前と同様の利用状況となっている。</p>
	(事務局)	<p>(２) 瑞穂町子ども計画進捗状況等管理票について</p> <p>※以下、資料３「瑞穂町子ども計画進捗状況等管</p>

		<p>理票」を用いて説明</p> <p>基本施策の進捗管理に関するシートの作りや評価の方法は、以前の計画より見やすく、分かりやすいものとした。また、これまでは1つのページに様々な課が入っていたが、課ごとに1ページとし、主な取組、施策、内容を記載することで、計画書を開かなくても分かるようにした。記載の流れとしては、</p> <p>①令和7年度の「この計画の取組（進捗・達成）状況（結果）」欄について、できるだけ具体的に、そして数値化できるものは数値化をして記載</p> <p>②令和7年度の「結果を踏まえた今後の課題」欄には、その取組状況を考察して、課題をできるだけ具体的に記載</p> <p>③令和7年度の課題を受け、令和8年度の「この計画の取組（進捗・達成）状況（結果）」欄を記載</p> <p>④令和9年度の向けた課題を記載</p> <p>という流れにしていきたいと考えている。</p> <p>評価方法については瑞穂町第4次地域保健福祉計画を参考にし、評点マトリックス表（進捗状況は1から5までの5段階、効果（成果）判定はAからEまでの5段階）により評点をつける形となる。</p> <p>量の見込みと確保方策の進捗管理については、評価の欄に利用者等の内訳を、その下に進捗状況や課題等を記載する形とした。達成度は、一番下に記載のとおりAからEまでの5段階での評価となる。</p> <p>子ども計画の概要版にもあるように、令和7年度に新しくスタートする中でPDCAサイクルをしっかりと見える化をしていかなければならない。私が委員を務めている瑞穂町地域保健福祉審議会でも同じように評価しているが、町としてあ</p>
	(会長)	

		<p>る程度統一性がある方が評価する側も分かりやすい。改善が必要であれば、取組内容、改善に向けた進捗状況や結果を記載すれば、次の課題に繋がっていく。具体的にこのシートが埋まっていけば、毎年同じ取組内容や課題なのか、来年度は取組内容や課題を変えた方がよいなど、色々なものが見えてくるのではないかと思う。</p>
	<p>7 その他 (関連部署職員)</p>	<p>事務局及び関連部署職員から報告</p> <p>町内の如意輪幼稚園から幼保連携型認定こども園に移行したいと相談を受けてきた。幼保連携型認定こども園とは、1つの施設の中に幼稚園部分と保育園部分があるとイメージしたら分かりやすいと思う。元々幼稚園だったので保育園部分が追加となる。町としては入園から小学校入学前まで1つの施設で切れ目ない教育・保育を行うことができるので待機児童対策や就学前教育充実のために有効だろうとバックアップしてきた。</p> <p>幼稚園の定員は400人だが、最近では170人程度の在籍人数で推移している。幼保連携型認定こども園に移行した直後は0歳児の受入れはせず、上のクラスが安定してから受入れを検討すると返答をもらった。1歳児が5人、2歳児が10人、教育部分が入るのでこのような伝え方になるが、満3歳児部分が20人、3歳児が45人、4歳児が45人、5歳児が45人で170人の利用定員で準備を進めている。9月18日に開催された東京都子供・子育て会議の中で如意輪幼稚園の幼保連携型認定こども園移行の計画が承認されたため、本日の会議で報告させていただいた。</p> <p>今後の流れとしては、計画が承認されたので認可の手続に入る。最終的に3月に開催される東京都子供・子育て会議で承認されれば、令和8年4月1日から幼保連携型認定こども園として運営できる。</p>
	(事務局)	<p>令和7年3月に子ども計画を策定したが、この</p>

		<p>計画の内容に関する進捗を管理するだけでなく、子どもや若者、地域の声を伺いながらアクションを起こしていかなければならない。こどもフェスティバル会場や産業まつり会場で実施した意見聴取は、会場に訪れた子どもや若者、その保護者に対して行ったが、例えば不登校の子どもや、大規模なイベントは苦手な子ども・若者など、拾いきれていない意見もあるかと思う。この計画を実行していくには、役場だけでなく地域を含めた多くの方の協力が必要であり、幅広く意見などを聞ける手段を研究していきたいと考えている。</p> <p>先日、神奈川県の大磯町と子育てに関する包括連携協定を締結した株式会社フレーベル館と情報交換をした。居場所づくり、子育て世代へ向けた情報発信、イベント等の運営支援、オリジナル絵本の作成など、魅力的な子育て施策について話を伺った。</p> <p>今後は子育て応援課だけでなく多くの部署を巻き込んで、町全体で子ども施策に取り組みたいと考えている。</p> <p>今年度は本日を含め、年3回の会議の開催を予定している。2回目は12月又は1月頃に、3回目は3月を予定している。各部署が作成した進捗管理票を第2回の会議で報告する予定。作成にどの程度の時間を要するか読めないため、2回目の会議日程は進捗状況を確認しつつ調整させていただく。</p> <p>第2回の会議では具体的な話ができれば良いと思う。</p> <p>以上で瑞穂町子ども・子育て会議を終了する。</p>
	<p>(会長)</p> <p>8 閉会</p> <p>(副会長)</p>	